

乳用雄子牛の育成 と肥育試験成績

—イナワラ利用—

雪印種苗KK
千葉研究農場

最上誠二

酪農とは、農業経営の中で飼料を栽培し、牛乳を生産し、これを販売加工処理すること（畜産大辞典＝養賢堂）、また乳牛を飼養し、牛乳を生産する農業経営をいう。（広辞苑＝岩波書店）

だが、最近における急速な肉の需要により搾乳牛、妊娠牛まで屠場に出回るといふ異常な状態も生じ勝ちである。こうなると乳牛の不足をきたし、将来の酪農に憂うべき事態であり、この定義も少々狂いが出てきたと思わざるをえない。基本は飽くまでも乳としてであるが、経営の安定さらに進展をせしめるためには、肉を考え併せていくことも必要といえよう。

すなわち廃用牛、雄仔牛の肥育の利用による肉生産によって、肉資源を提供し、かつ乳牛の資源

の枯渇の歯止めとし、経営の安定としたいものである。数年前までは、乳用牛は肉用に供されても乳臭い味が思わしくないと稍毛嫌いされ、生後1週間ぐらいでスモールとしての肉製品の安価な原料として屠殺されていたが、肉の需要に伴い、肥育技術によってその利用価値も高まり、肥育用の素牛として重要視されていることは酪農家にとって有益なことである。

最近では育成肥育専門を企業的にせしめる傾向が見られるが、この場合生れ落ちてから離乳するまでの育成、さらに肥育等には技術的にも問題が残されており、最近のように特に餌高になると、濃厚飼料を主体とした肥育に至ってはかなり厳しい現状である。したがって、やはり手近にある粗飼料を十分活用し、一貫した育成肥育が経済効率の良い最良の方法と思う。

当研究農場では、去る46年5月～47年10月に（17ヵ月）わたって雪印方式に基づき、イナワラを利用した試験を試み、その成績結果を得たので紹介する次第である。

哺育育成 育成の技術のポイントはと言えば、将来の食い込みの良い牛を作るようにすることであり、そのためには消化器の構造発達をしっかりとしたものにするのである。したがって、特に哺育期には良質な粗飼料を給与することが大切であり、育成期は胃を丈夫にする時期に当るので、どちらかといえば質よりも量を重視し十分に与える

第1表 給与飼料体系と給与量

月令	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	備考
品目																		
初乳	7日																	
ネオカーフミルク	42日																	
カーフスターター	90日																	
肉用前期				35	45	50	60											一日の給与量
肉用後期								6.5	7.0	7.5	7.5	8.0	8.5	8.5	8.5	9.0	9.0	一日の給与量
乾牧草	自由採食																	
イナワラ						自由採食												

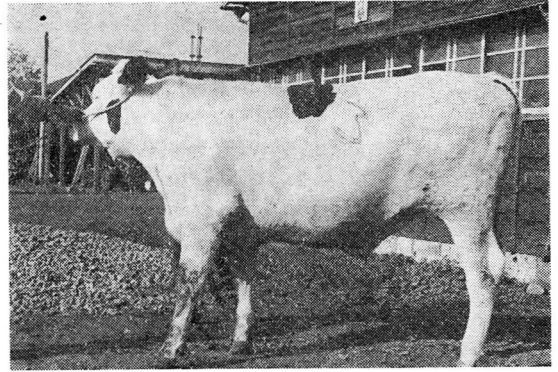
イ ネオカーフミルクは初乳1週齢後1日500gを朝夕2回に分けて哺乳し、その際特に温度（38℃～40℃）と温湯量を1.8l以内とした。

ロ 哺乳はガブのみ（下痢、その他の弊害は全く見られない）とし、ネオミルクに切換えと同時に水を自由給水又カーフスターターも不断給餌とした。

ハ 濃厚飼料は1日の給与基準量を不断給餌とした。

第2表 発 育 成 績

供 試 牛	1 号	128k	236k	354k	588k
	2 号	135k	242k	661k	537k
	3 号	118k	223k	362k	551k
	4 号	129k	252k	397k	573k
	5 号	138k	252k	388k	563k
日本ホル協(1962年)による標準体重		120.0k 3ヶ月	210.32k 6ヶ月	329.24k 10ヶ月	537.0k 17ヶ月



第3表 肥 育 成 績

供試牛		1 号	2 号	3 号	4 号	5 号	平均
発 育 状 況	出 荷 月 齢	17ヵ月	17	17	17	17	17
	素 牛 体 重	51k	56	50	50	54	52.2
	出 荷 時 体 重	588k	537	551	573	563	562.4
	1 日 当 り 増 体	1.045k	0.936	0.975	1.018	0.99	0.993
屠 体 状 況	枝 肉 重 量	309k	296	308	314	307	306.8
	枝 肉 歩 留 り	52.6%	55.1	55.9	54.8	54.7	54.6
	枝 肉 格 付	中上	中	上	中上	中上	中上
	枝 肉 単 価	787	748	795	769	761	772
飼 料 給 与 状 況	濃 厚 飼 料 量 給 与 飼 料	3.513k	3.513	3.513	3.513	3.513	3.513
	粗 飼 料 (イナワラ)	724	724	724	724	724	724

ことである。

去勢 普通生後3ヵ月~6ヵ月位いまで行われていますが、今回の試験では生後2週齢で行い、その間の発育も全く影響なく、かつ屠体における肉質格付評定の結果をみても、肥育効果は良効であったと認め、早期去勢をお奨めしたい。

方法は図のように付根のところを普通の買物等についてくるゴム輪3本あれば良い。すなわち1本のゴム輪を反復反転する。それを3本(3回)繰返し行えば良い。



10日以上経つとミイラ化する。
実施は生後2週令で
剪定ばさみ等で切り取ると良い。

(注) 枝肉の格付は芝浦屠場の専門員による。

第4表 肥 育 経 済

供試牛		1 号	2 号	3 号	4 号	5 号	平均
販 売	販売価格(円)	258,196	236,060	259,836	255,304	248,576	251,592
	販売経費(円)	12,765	12,765	12,765	12,765	12,765	12,765
	販売収益(円)	245,421	223,295	247,071	242,539	235,810	238,827
経 費	濃厚飼料費(円)	128,940	128,940	128,940	128,940	128,940	128,940
	粗飼料(イナワラ)	5,224	5,224	5,224	5,224	5,224	5,224
	飼料費合計(円)	134,164	134,164	134,164	134,164	134,164	134,164
	素牛代(円)	9,000	7,800	7,800	7,800	7,800	8,040
粗 益	飼 費 育	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	経 費 合 計	148,164	146,964	146,964	146,964	146,964	147,204
粗 益	粗 収 益 (円)	97,257	76,331	100,107	95,575	85,846	91,023
	1 日 当 り 粗 収 益	189	149	195	187	168	177

(注) 販売、経費等は総て46年5月~47年10月当時のものをそのまま掲上した。

試験の経過を顧み、さらに経済性を高めるためには多くの改善点もあるが、特に次の3点に留意すべきだと思う。

① 素牛の選定

- イ 初乳(4~7日)を充分のんでいる
- ロ 臍の乾きの良いもの
- ハ 生体重の大きいもの(45kg以上が望ましい)
- ニ 吸飲力の強いもの
- ホ 背線のしっかりとかたつき良く活力のあるもの

② 良い飼料を与えること 育成期に於ける粗飼料は質量に配慮し、又購入飼料については信頼

のあるエサを選ぶこと。

③ 良い管理をする事 省力化は言うまでもないが「親切な管理を忘れて成功覚束ない」と言う言葉を耳にした事がありますが、全くその通りで、生き物でありますから個体の観察を密にする事です。

以上の事柄に留意し、急速な肉の需要に供給出来る様安価な肉生産を図る一例として、イナワラ利用による肥育成績を紹介し、源になる乳牛を食いつぶさない様に、経営の発展を期するものである。特にイナワラが容易安価に入手できる地帯では有利な方法としてすすめたい。

美しい緑の「じゅ うたん」が作れる

土壌の流失や砂ぼこりを防ぎ美観を与える

西洋芝生

法面緑化

芝生・法面緑化用草種の特性

種類	区分	品 種 名	適地		耐旱性	耐湿性	耐陰性	耐塩性	地下茎	匍匐茎	耐踏圧	葉色	刈高	利用		摘 要
			寒地	暖地										法面緑化	芝生	
ベン ト グ ラ ス	コア ロ ニ ル	ハイランド	○	○	○				○	△	○	青緑	高低	△	◎	ゴルフフェアウェー, 一般芝生
		アストリア	○		○				○	△	○	淡緑	低	△	◎	
	ク リ ン グ	ペンクロス シーサイド	○	○	○				△	○		やや濃 淡	低 低	△ △	◎ ◎	ゴルフグリーン, 高級芝生 ゴルフグリーン, 砂地適
		レ ッド ト ッ プ	○	○	○	○			○		○	淡	高	○	△	各種土壌に適, 耐酸性, ゴルフ ラフ, グランド
ブ ル ー グ ラ ス	ケ ン ル タ ー グ ラ ス	フィルキング	○	○	○				○		○	やや濃	高	○	◎	耐病性, 多肥性
		パ ロ ン	○	△	○				○		○	やや濃	低	○	◎	張芝用にも良い
		ナ ゲ エ ット	○		○			○	○		○	濃	低	○	◎	発芽早い, 公園, 学校
		メ リ オ ン	○		○				○		○	濃	低	○	◎	銹病以外は強い
		ゴ ル フ	○	△	○				○		○	濃	高低	○	◎	ゴルフフェアウェー, 競技場
		ペ ン ス タ ー	○		○				○		○	やや濃	高低	○	◎	混播適応性大
		コ モ ン	○		○			○		○	やや濃	高	○	◎	土壌適応性大	
フ ア イ ン フ エ ス ク	ク リ ド フ エ ス ク	ペンローン	○	○	○				△	○		やや淡	高低	○	○	砂地, 日陰に強い, 耐病性
		イ ラ ヒ ー	○	○	○	○	○		△	○		やや濃	高	○	○	生育早い
		コ モ ン	○	○	○	○	○		△	○		やや濃	高	○	○	砂地, やせ地, 土壌適応性大
		チ グ フ エ ス ク	ハイライト コ モ ン	○	○	○	○	○			○	濃	高低	○	○	各種土壌に適
				○	○	○	○				○	やや濃	高	○	○	土壌適応性大
ト ール フ エ ス ク		ケンタッキー-31	○	○	○	○			○		○	やや淡	高	◎	△	土壌気候を選ばず強健
		アルター	○	○	○	○			○		○	やや淡	高	◎	△	土壌気候を選ばず強健
バ ー ミ ュ ー ダ グ ラ ス ウ ィ ー ピ ン グ ラ ブ グ ラ ス				○	○				○	○	○	やや淡 淡	高低 高	○ ◎	◎	ゴルフグリーンティ, フェア ウェー, 工場, グランド 暖地の法面用